

第 2 部 水質環境

水質の環境問題には、海域の水質、河川の水質、湖沼の水質、閉鎖性水域の水質、地下水の水質があります。第 2 部では最初にこれら公共用水域の環境基準を紹介します。次に日本の水質環境の現状を、環境基準値の達成状況から解説します。続いて水質汚染の環境影響を、事例を中心に解説します。なお、水質の環境は国によって特性や重要性に差異があります。水域の用途も国によって大きく異なることが珍しくありません。このため、本稿で扱う水質環境の対象は、日本国内に限定しています。